

Agri Note 田園

アグリノート米作り情報

(ハナエチゼン・コシヒカリ)

JA福井県

今年は4月下旬、五月上旬と朝晩の気温が低い日が続きました。早生品種を中心に田植え後の初期生育も遅れ気味となっています。田植後の浅水管理を徹底し、分けつ促進に繋がってください。必要な茎数が確保されたら、速やかに溝切り・中干しを行い、根の活性化を図りましょう。

また、水回り巡回の際に雑草の取りこぼし等がないか圃場の確認をしてください。中後期除草剤を適期に使用し、収量に影響を与える事の無いよう、圃場管理に努めましょう。



1. 溝切り・中干し

必要な茎数が確保されたら、速やかに溝切り・中干しを実施し、過剰分けつを抑えましょう。

①溝切り

- ◆ 落水3～7日後、田面がやや固まった状態で実施
- ◆ 間隔は3～5mに1本
- ◆ 深さは10cm以上

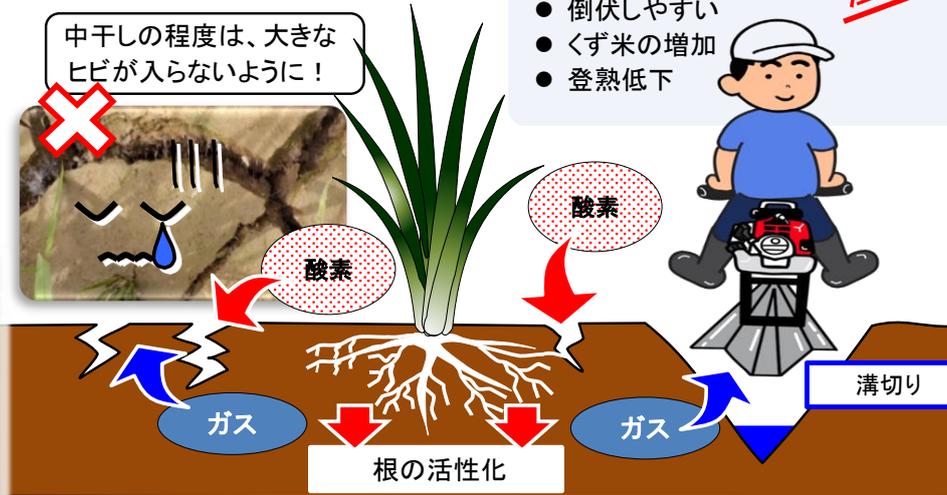
溝切り後の水管理が容易になります！また地耐力が向上し、機械収穫がしやすくなります！



②中干し

- 根腐れを抑制し根の伸長を促進
- ハナエチゼン 6月上～
 - コシヒカリ 6月中～下旬

中干しの程度は、大きなヒビが入らないように！



中干し不足で過剰分けつになると... 下記のリスクが高まります！

- 高タンパク値米
- 倒伏しやすい
- ぐず米の増加
- 登熟低下

注意！

2. 取りこぼし雑草対策

初中期除草剤の散布後、取りこぼした雑草が無い圃場の確認を必ずしてください。取りこぼし雑草や後発雑草がある場合は、中後期除草剤の散布で対策を行いましょう。



- ① ヒエ等の雑草はカメムシ被害につながります。
- ② 広葉雑草は収量低につながります。
- ③ 雑草を抑えるために適した除草剤の選択と適期散布を行いましょう。

【中・後期に散布できる除草剤】

雑草区分	資材名	形状
ヒエ	クリンチャー	粒・EW
	ウィードコア	粒
広葉	バサグラン	粒・液

※除草剤のお問合せは、各支店・センターの営農指導員まで